

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 6 部門第 3 区分
 【発行日】平成26年6月19日 (2014.6.19)

【公開番号】特開2013-125357(P2013-125357A)
 【公開日】平成25年6月24日 (2013.6.24)
 【年通号数】公開・登録公報2013-033
 【出願番号】特願2011-272825(P2011-272825)
 【国際特許分類】

G 0 6 F 9/48 (2006.01)

G 0 6 F 9/50 (2006.01)

【F I】

G 0 6 F 9/46 4 5 5 A

G 0 6 F 9/46 4 6 2 Z

【手続補正書】

【提出日】平成26年4月24日 (2014.4.24)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

プログラムの選択に応じて、選択されるプログラムに関連づけられるプログラム関連情報を表示可能な状態に設定する関連情報表示制御手段と、

関連づけられるプログラム関連情報が表示可能な状態に設定されているプログラムの起動要求の受付に応じて、当該プログラムを起動する起動手段と、

前記起動手段によりプログラムが起動される際に、所与の条件を満足する場合に、起動済のプログラムの実行を終了させて、当該プログラムが使用していたリソースを解放する終了手段と、を含み、

前記終了手段によりプログラムが使用していたリソースが解放された後でも、使用していたリソースが解放された当該プログラムに関連づけられるプログラム関連情報の設定が表示可能な状態に維持される、

ことを特徴とする情報処理装置。

【請求項 2】

前記終了手段は、実行されているプログラムにより使用されているリソースが上限を超える場合に、起動済のプログラムを終了させる、

ことを特徴とする請求項 1 に記載の情報処理装置。

【請求項 3】

前記終了手段は、複数のプログラムのそれぞれに対応付けられる優先度に基づいて、当該複数のプログラムのうちから選択されるプログラムを終了させる、

ことを特徴とする請求項 1 又は 2 に記載の情報処理装置。

【請求項 4】

前記終了手段は、表示されている情報を生成したプログラムとは異なるプログラムを、表示されている情報を生成したプログラムよりも優先して終了させる、

ことを特徴とする請求項 3 に記載の情報処理装置。

【請求項 5】

前記終了手段は、終了されるプログラムの実行状況を示す実行状況データを記憶手段に記憶させ、

前記起動手段は、プログラムを起動する際に、当該プログラムの前記実行状況データが前記記憶手段に記憶されている場合に、当該実行状況データに基づいて、当該プログラムの実行状況を再現する、

ことを特徴とする請求項 1 から 4 のいずれか一項に記載の情報処理装置。

【請求項 6】

前記終了手段は、終了されるプログラムの終了の際における実行状況を示す前記実行状況データを記憶手段に記憶させ、

前記起動手段は、プログラムを起動する際に、当該プログラムの前回の終了の際における実行状況を再現する、

ことを特徴とする請求項 5 に記載の情報処理装置。

【請求項 7】

前記関連情報表示制御手段は、前記終了手段により終了されたプログラムに関連づけられるプログラム関連情報を、前記終了手段によりプログラムが終了された後に、ネットワークを介して接続された外部装置から取得する情報に基づいて更新する、

ことを特徴とする請求項 1 から 6 のいずれか一項に記載の情報処理装置。

【請求項 8】

それぞれがプログラムに対応付けられる複数の選択肢が表示手段に表示されるよう制御する選択肢表示制御手段、をさらに含み、

前記選択肢を選択する操作に応じて、選択される選択肢に対応付けられるプログラムに関連づけられるプログラム関連情報を表示可能な状態に設定する、

ことを特徴とする請求項 1 から 7 のいずれか一項に記載の情報処理装置。

【請求項 9】

プログラムの選択に応じて、選択されるプログラムに関連づけられるプログラム関連情報を表示可能な状態に設定する関連情報表示制御ステップと、

関連づけられるプログラム関連情報が表示可能な状態に設定されているプログラムの起動要求の受付に応じて、当該プログラムを起動する起動ステップと、

前記起動ステップによりプログラムが起動される際に、所与の条件を満足する場合に、起動済のプログラムの実行を終了させて、当該プログラムが使用していたリソースを解放する終了ステップと、を含み、

前記終了ステップでプログラムが使用していたリソースが解放された後でも、使用していたリソースが解放された当該プログラムに関連づけられるプログラム関連情報の設定が表示可能な状態に維持される、

ことを特徴とする情報処理方法。

【請求項 10】

プログラムの選択に応じて、選択されるプログラムに関連づけられるプログラム関連情報を表示可能な状態に設定する関連情報表示制御手段、

関連づけられるプログラム関連情報が表示可能な状態に設定されているプログラムの起動要求の受付に応じて、当該プログラムを起動する起動手段、

前記起動手段によりプログラムが起動される際に、所与の条件を満足する場合に、起動済のプログラムの実行を終了させて、当該プログラムが使用していたリソースを解放する終了手段、としてコンピュータを機能させ、

前記終了手段によりプログラムが使用していたリソースが解放された後でも、使用していたリソースが解放された当該プログラムに関連づけられるプログラム関連情報の設定が表示可能な状態に維持されるよう前記コンピュータを制御する、

ことを特徴とするプログラム。

【請求項 11】

プログラムの選択に応じて、選択されるプログラムに関連づけられるプログラム関連情報を表示可能な状態に設定する関連情報表示制御手段、

関連づけられるプログラム関連情報が表示可能な状態に設定されているプログラムの起動要求の受付に応じて、当該プログラムを起動する起動手段、

前記起動手段によりプログラムが起動される際に、所与の条件を満足する場合に、起動済のプログラムの実行を終了させて、当該プログラムが使用していたリソースを解放する終了手段、としてコンピュータを機能させ、

前記終了手段によりプログラムが使用していたリソースが解放された後でも、使用していたリソースが解放された当該プログラムに関連づけられるプログラム関連情報の設定が表示可能な状態に維持されるよう前記コンピュータを制御する、

ことを特徴とするプログラムを記憶したコンピュータ読み取り可能な情報記憶媒体。